

陸上競技（短距離）プログラム報告 2014年5月10日（土）中村 泰雄

お馴染みの配布プリントはバトンの受け渡しで作りました。B5の用紙を縦に使い、上辺中央にタイトル、その下にはバトンを受渡しする手の画像を貼り付け、その下に知られているリレー六種目（400m、800m、1600m、3200m、6000m、スウェーデンリレー）を挙げ、その下でバトンの受け渡しに関する基礎的なルールに触れ、これらが陸連の競技規則の170条に明記されていることを書き添えました。そして最後は次回のプリントの内容を予告する次の言葉で結んでいます。（つづく）

配布プリントはウォーキング中の植物見物とは無関係のものになりましたが、アスリートの中にはこれを楽しみにしている子も居ます。止めるわけにはいきません。ハリエンジュ（別名ニセアカシヤ）を見てもらいました。ジョギングコースの400の距離表示付近に植栽されています。四年前にも同じ樹を見てもらいましたが、今が花期で、白い花序をいっぱい付けています。

私は準備体操が始まるのを待って現場に向かいました。そこで待つこと三分足らずでS君&K君を先頭にウォーキングの一隊が到着しました。

早速実物を前にして、ハリエンジュの方が先に移入されてアカシヤと呼ばれていたこと。その為に混乱が生じたこと。例えば、西田佐知子の『アカシアの雨が止むとき』や石原裕次郎の『赤いハンカチ』や北原白秋の『この道』に出て来るアカシアはこのニセアカシアの方だという話などをして、五分後に再スタートしてもらいました。

ウォーキング後は2000を走り、その後、種目別に分かれ、短距離グループは東端に移動して、冒険広場横の下り坂を利用して、スピード練習を5本、冒険広場と大芝生広場の間の人通りの少ないコースでクラウチングスタートの練習をして、十一時三十分に風速5m近い西風の吹く中でのプログラムを終了しました。プログラムを終了しました。